

いずみのひろば

2024年 11月 14日
日本基督教団 聖公会
NO. 549 教会学校



「イエス、死と復活を予告する」

マタイによる福音書 16:21-28

先週、ペテロさんはイエス様が神の子救い主であることを告白しました。その後イエス様と弟子たちは、ガリラヤからエルサレムに向かつて旅をはじめました。

ところがその途中でイエス様はおっしゃいました。エルサレムの町でたくさん苦しみを受けて十字架にかかれること。そして死んでしまうこと。しかし、三日目によみがえられることも打ち明けられました。弟子のペテロさんはそれをきいてびくりました。ペテロさんは、イエス様は神の子救い主です！と告白したばかりだったからです。ペテロさんはイエス様のことを本当に救い主だと信じていました。だって、これまでいんなスゴイ奇跡、力ある御業をなさったのです。病気の目をいやし、嵐の湖を静め、湖の上を歩き、5つのパンと2匹の魚で大勢の人をお腹一杯いっぱいにして……。だからこれからもイエス様についていけば怖いものなんてない、間違いないと思っていました。私たちを幸せにして下さる、守って下さると思っていました。みんなを苦しめるローマの兵隊たちのこともやつつけてくれる。幸せな国になるぞ。皆喜ぶぞ。そう思っていたのです。それなのにイエス様は、これからエルサレムで苦しめられ、殺されるなんて言い出したのです。

私たちは聖書を読んで、教会でお話をきいてイエス様が十字架におかかりになることを知っているけどペテロさんたちは知るはずがありません。そんな苦しみを受けて死なれるなんていう恐ろしいこと聞いて、皆不安になるんじゃないか。それに、神の子救い主が死ぬわけがない！ペテロさんはそう思ったのです。それで、「イエス様、とんでもない。そんなことがあってはいけません。」と言ったのです。

すると、イエス様はペテロさんのほうを向いて言われました。

「サタンよ引き下がれ！あなたはわたしの邪魔をするもの。神のことを思わずに人間のことを思っている！」イエス様はそうおっしゃったのです。イエス様はどうしてそんなきついことをおっしゃったのでしよう？それはイエス様の神の子救い主としてのお仕事かペテロさんや私たちが人間の考えとは全然違っていたからなのです。

イエス様のお仕事は、食べ物をついばい増やすことではありません。病気を治すことでも、敵をやっつけることでもありません。イエス様は（まるでドラえもんのように！）困った時にいつも助けられることよりも、何より十字架にかかって下さる救い主だったのです。十字架で、私たちの悪い心、罪を滅ぼして下さる救い主なのです。敵をゆるせない、人を愛せない私たちの心、一番になりたい、イバりたい、ズルいことや悪いことを考える、私たちの心、サタンの心を滅ぼす救い主なのです。また、病気を治して死なないようにするのではなく、死んでもよみがえる命を与えて下さる救い主なのです。

その神様に私たちは何ができるのでしょうか？どうすることが従うということなのでしょう？自分のことばかり考える心、サタンの心を捨てて、十字架のイエス様を私の救い主と信じて生きていくことが、イエス様の喜ばれること、イエス様に従うことです。

(おはなし 林 和子先生)